

インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 52 週(2024/12/23~12/29) 感染症発生動向調査速報値 (2024/1/7 時点) 】

定点医療機関※新規患者報告数： **1,291**人、定点医療機関当たり **26.9** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点 (小児科29定点、内科19定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)

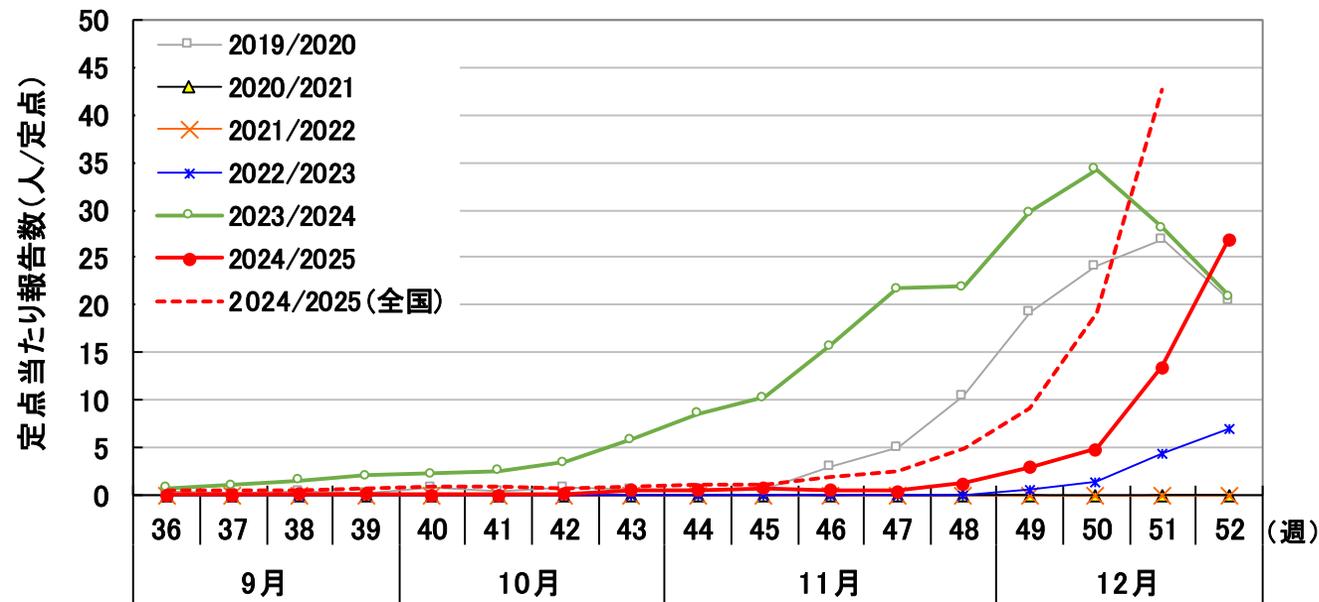
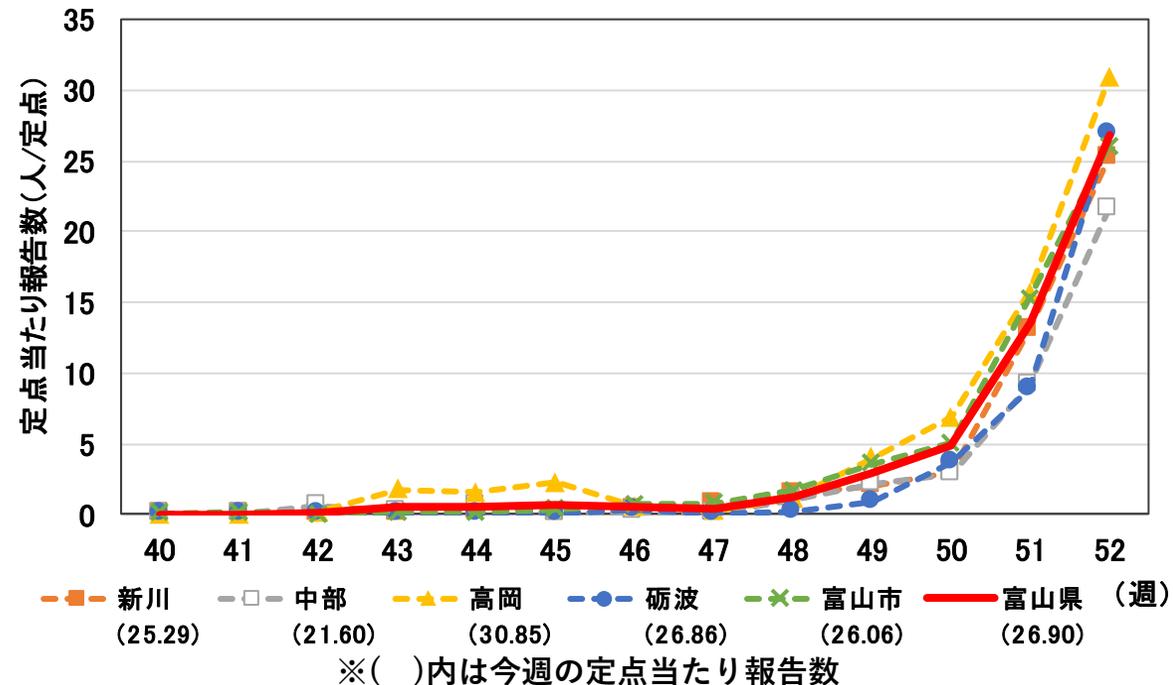
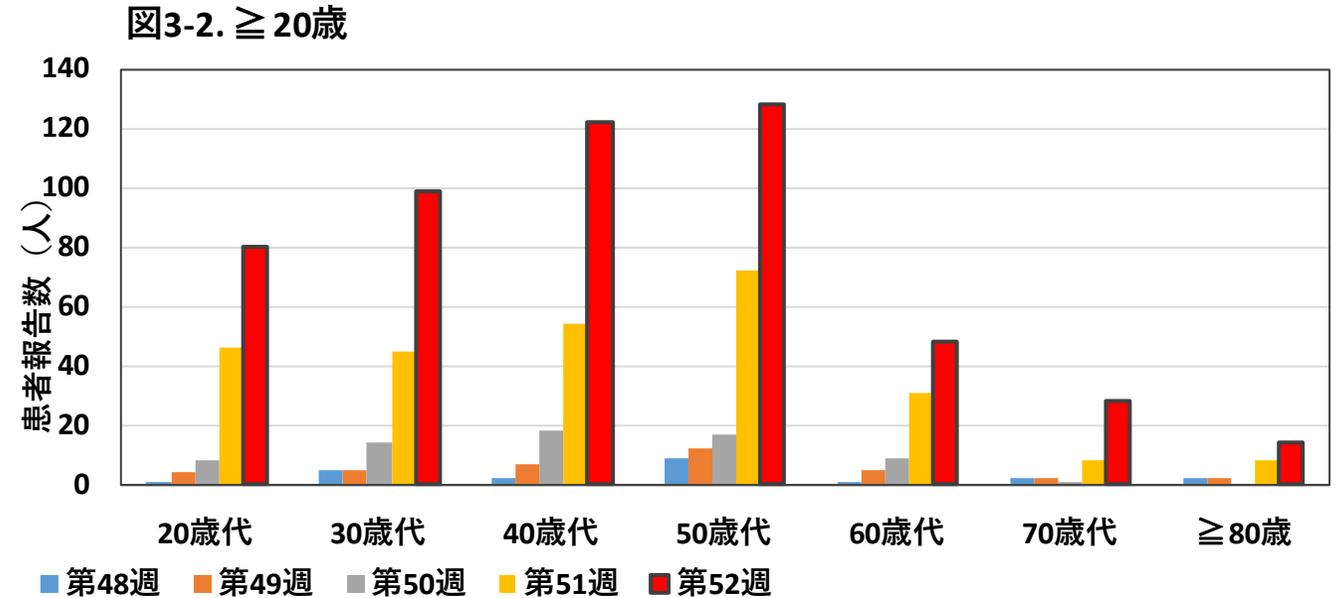
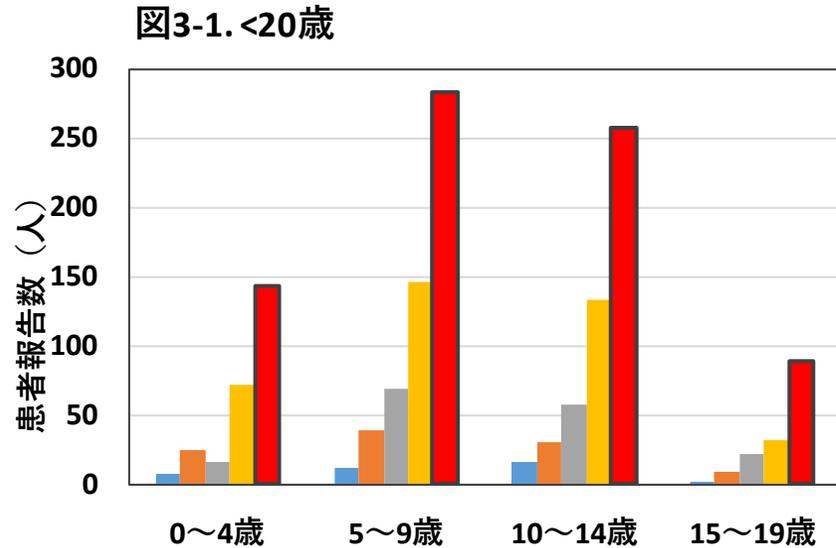


図2. 厚生センター・保健所別患者報告数



- 富山県の患者報告数 (図1) は今週26.90人/定点となり、先週 (13.48人/定点) から大きく増加した。
- 厚生センター・保健所別に見ると (図2)、全ての管内で先週から増加した。高岡管内では、警報レベルの基準である30人/定点を超えており、その他の管内では注意報レベルの基準である10人/定点を超えている。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- すべての年代で先週から増加した。特に0～14歳、30歳代～50歳代で増加が顕著になっている。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第51週)

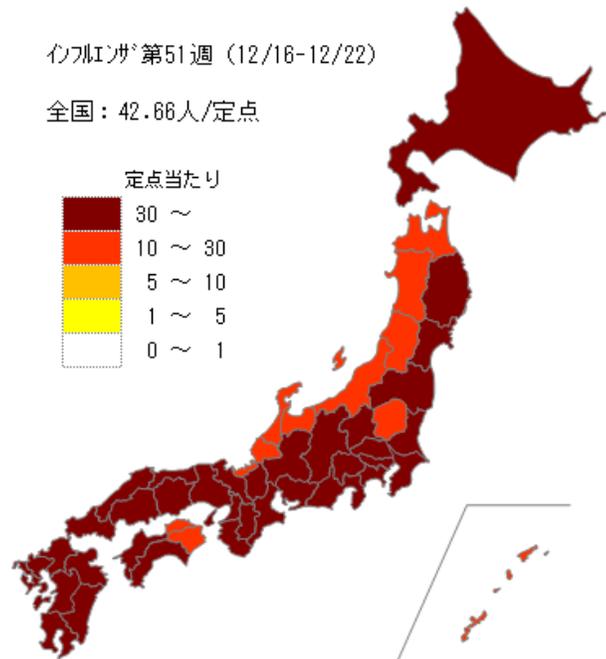
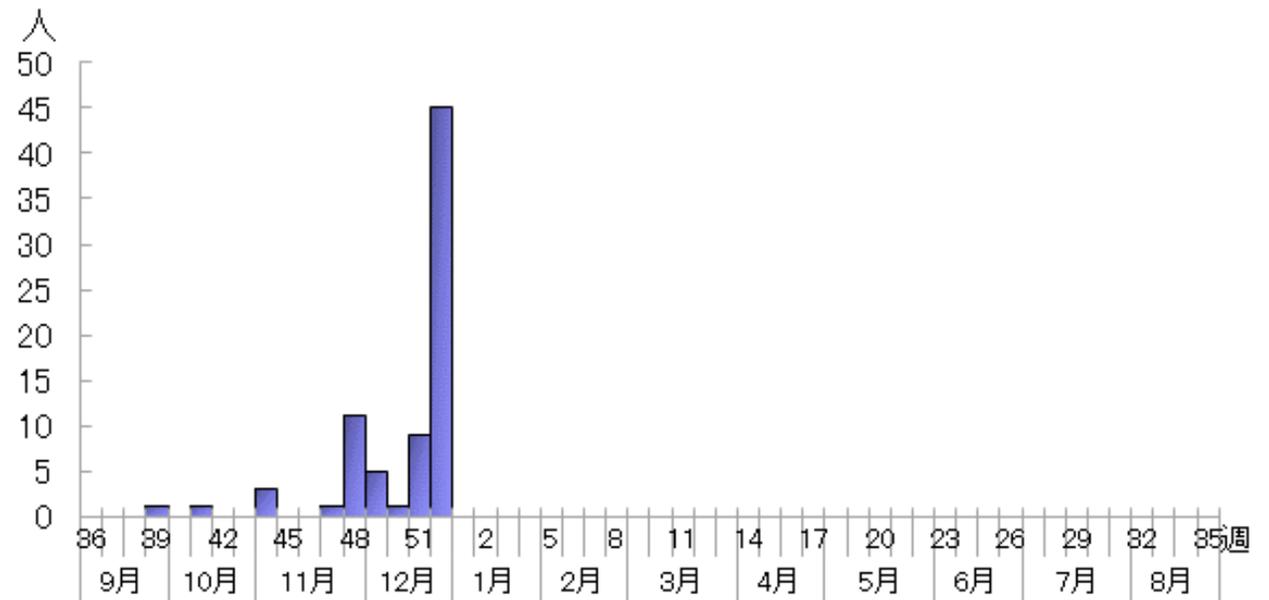


図5. インフルエンザ入院患者報告数(第52週)



- 全国では第51週に42.66人/定点となり、第50週（19.07）から増加した。都道府県別（図4）では、全ての都道府県で注意報レベルの基準である10人/定点を超えており、その内37都道府県で警報レベルの基準である30人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図5）では、今週45例（10歳未満:8例、10歳代：2例、50歳代:2例、60歳代:6例、70歳代：7例、80歳以上:20例）の報告があった。80歳以上の入院患者数の増加が顕著になっている。
- 県内のインフルエンザ定点の患者報告数は先週から大きく増加した。また、第52週に学級閉鎖の報告が1件（小学校1件）あった（[富山県インフルエンザ関連情報](#)）。学校等の再開による市中での感染拡大が懸念され、引き続き今後の発生動向を注視する必要がある。